

事務事業名 荒廃森林再生事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1282

施策：	05	農林業の振興	財務コード	01050201-02-00
基本事業：	06	森林の保全	担当部	環境経済部
基本事業の 成果指標	適正に管理されている人工林の割合		担当課	農政課
			担当係	農林土木担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成20年度 ~ 平成29年度		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
荒廃した森林			荒廃した森林の再生を図るため、荒廃森林であるか調査を行い、森林の整備、森林の造成を行い森林の保全に努める。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			平成30年度実績						
荒廃した森林の再生を図り森林の保全を行う。			強度間伐9.39ha 間伐7.53ha						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
荒廃森林整備面積		ha	38	16	5	17			
5. コスト									
事業費		計	千円	17,389	9,080	8,876	16,041		
		国	千円	0		0	0		
		県	千円	17,389	9,080	8,876	16,041		
		地方債	千円	0		0	0		
		その他 一般	千円	0		0	0		
正職員人工数		人工	0.5	0.4	0.4	0.4			
正職員人件費		千円	3,998	3,236	3,226	3,194			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	21,387	12,316	12,102	19,235			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		計画的な荒廃森林の再生ができています。平成30年度から対象森林が保安林または保安林指定を行う森林であることが条件となったため、当初32.0haの計画だったが、実績として16haの整備となった。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	荒廃森林の再生により森林の有する公益的機能の増加が図れる					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	なし								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
荒廃森林再生事業の実施に係る整備内容データを入力し、森林所有者に送付する作業があり、データ量が多いため、臨時職員の雇用日数を減らすことはできない。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
森林は、木材生産、水や酸素の供給、土砂災害の防止、洪水・渇水の緩和や地球温暖化防止等の公益的機能を有し、県民生活に多くの恵みをもたらす。森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、荒廃した森林を再生し、環境の森として保全する。環境問題や災害等から荒廃した森林の再生が望まれる。				福岡県森林環境税検討委員会において、福岡県森林環境税を継続して森林の有する公益的機能の発揮に向けた施策、森林を守り育てる気運の向上に向けた施策を実施していくことが適当であるとの判断がなされた。これを受け平成30年度以降も「福岡県森林環境税」を継続することとなった。					